

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

## 新年を 祝う会を終えて

新年会も今年で第七回を迎えました。大代全地域から百名程の参加をいただき、盛会裡に終りました。

会場では、おめでとう、本年もよろしく、とあいさつを交わされ、また、ネームプレートで相手を確認され、長い御無沙汰を謝し、本年のホープ等話に花を咲かせ親交を深められたことでしょう。

また、舞台では、有志の皆さんによるかくし芸、舞踊、カラオケ等により会を盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。来年も大勢の方が参加されますようお願いいたします。

終りに、お手伝いいただきました方々に厚くお礼を申しあげまして御報告といたします。

コミュニティ推進部長  
内ヶ崎勝夫

## 「初夢」

恒例の新年会も終り、平成八年がやってきました。めでたさも中位なり云々と言った人もいたけれど、老境に入った私にしてみれば、中位なんていうものではないが、しかし、ああして新年早々素晴らしいエンコ口節を聞かせ

られれば、やはり大いにめでたい新年であるとも思う。そして口惜しまぎれに百まであと三十何年もあると強がっているこの頃である。

なお、御祝辞をどっさり頂きましたが、人それぞれの立派な抱負等、本当に有難く拝聴いたしました。来年は出来るならば若い人達、例えば育成会の会長さん方々にも我が大代五区のビジョン等御発表頂ければ更に盛り上がるのではないかと、そしてもっと大勢の方々に御参加頂けるのではないかと、それから老若男女という言葉のように若いも若きも男も女もフォークダンスでも踊って、楽しい新年の集いにしたならば等と初夢を見ております。

今年はその初めから内閣が代わり、前から本命視されていた総理大臣が指名されたのも順当なのではないかと、もう島国日本ではなく、グローバルな日本ですから、大いに頑張って国威を飛ばしていただければと念願しております。

それにしても年の初めから大変革がありましたから、今年は大繁栄する日本であってほしいものです。そして私達の商売も大繁昌ということにはいいかないものではないかと。これもやっぱり初夢の延長ですか。

大代南 跡辺三夫



## 《太く長く》

九五年のプロ野球はヤクルトの日本一で幕を閉じ、巨人や阪神ファンはさぞ残念なことだったろうと思う。

ちょうど一年前の大震災で壊滅的な被害を被った神戸市民に復興の活力を与えたともいわれるオリックスのパリーグ優勝と前年に続くイチローの大活躍であった。イチローのインタビュー記事を読んで、イチローが「太く長く」を身上に生きていくということを初めて知った。若いときは、誰でも自分の人生が「太く長く」ありたいと思うのではないかと。しかし、彼の場合には既にすばらしい実績を残し、また、決しておごらずにたゆまぬ努力を続けているだけに迫力があきまぬ努力が感じられた。私も六十代半ば過ぎ自分の人生をどう生きてきたか、また、どう生きようとしているか、あまり明確に表現したことがなかった。夢で表すには歳を取ります。振り返った過去だけでは寂しすぎる。良き先輩、仲間にも恵まれ、楽しく生きてきたが、そろそろ「願みで……だった」と言える人生にしようという意志を持たないと、楽しいだけで終わってしまうかもしれない。いや場合によっては後輩達からはうとまれる存在になってしまうかもしれない。

ある人の話に「一生働け」と言われる。一方で若い時代は仕事を楽しめ、そして老後を楽しめと言われた。二つの楽しみがあって、人生はより充実するものだと思はる。

大代東 本郷新治

## 「短歌」

暮るるまで幼ら遊びし舗装路にチヨークの線の真白く残る

奈良美千子

穏やかな元旦迎え薄化粧しひとり屠蘇酌む亡夫の分まで

佐々木栄子

手を上げて来し幼孫やわらかき髪寄せわれに眼しと言ふや

本郷貞子

作られて咲きあがる菊の大輪の部屋に挿されて尚日を慕ふ

## 「川柳」

百才の翁の顔に見る歴史

鈴木絹子

おふくろの味たしかなり母老いず

佐藤秀子

お正月みんな集り席がない

星 繁子

欠礼のあいさつ出して待った初春

本郷ひさ

兄弟会兄から席に並ぶ顔

高橋 操

多事多難の年すぎあらた願う幸

阿部うめよ

御祝儀 お見舞いは 三千元を限度にお返し物はしないようにお互い気を配りましょう

# 『子は宝』

「白金も黄金も玉も何せむに子に勝る宝なし」と万葉歌人山上憶良の言葉通り、子どもは本当に宝です。その上、無限に伸びる力を持っているのが子どもです。

私は昭和二十三年から平成四年まで子どもと共に、子どもの中で生きて来ました。今振り返ってみると数々の子ども達の姿が思い出されてきます。「おはようございます」朝の挨拶の後健康観察をし、子どもの顔を見ると清く美しい瞳でじっと見ている。私は今日もこの子達と頑張ろうといつも緊張し、張り切る気持で一ぱいでした。お陰で在職中は産休（産前、産後六週間）以外殆ど休まず、今日もあの瞳が待っていると思うと元気が出たものです。健康にも恵まれ、子どもが大好きだったのです。

大人が子どもに「先生はやさしい」と聞くと「やさしいけれどこわい、だけどおもしろい」と子どもから評価されています。先生は、やっぱりこわいのかな。まあこれでいい。しかし、感情的に叱りたくない。叱ることは疲れることです。「おもしろい」と言われたことは嬉しい表現でした。若い時はお姉さん先生、次にお母さんみたい、今度はおばあちゃんみたいと親しまれ、

おもしろいのは「顔かな」「言葉かな」「動作かな」自分でも不明です。

幼稚園児から六年生まで多くの子に親しまれ、学校が面白い、学級が楽しい。幸いに現職中は、いじめもなく、学力の優劣も少なく、みんな仲よく明るく助け合い、毎日毎日がピチピチ若鮎のような子ども達で、先生のクラスはいつも瞳がピカピカして元気だねと言われてとても幸せでした。

小さいことで学校嫌いの傾向が見えると親と連絡を密にして、子どもの不安を取り除いてやると回復し登校しました。

水泳でもスキーでも初めての学習に子どもは短時間でマスターし、上手になるのが神技と思うくらい不思議な無限の力を持っているのに驚きを感じていました。

子どもは良き指導者、良きリーダー、信頼できる相談相手が大切です。孟子ではないが、子どもは環境によって育つものです。大人は子どもの良き指導者、また、良き相談者だと思えます。

『子は宝』未来に向かって進む子どものために、私達は良きリーダー、良き相談者で子ども達を見守って育てていきたいものだと思えつつ。



大代北 鈴木絹子

## はたちの夢

今まで「二十歳」といっても単なる人生の中の通過点にすぎないと思っていました。

しかし、いざその年を迎えると、私の心に何か今までに感じたことのないような感情が芽生えました。それが成人としての『責任』なのでしょう。二十歳になったのを機に、抱負（夢）をいくつか掲げたいと思います。

まず第一に、まわりの人から早く一人前の社会人として扱ってもらえるようになりたいということです。そのために私自身の気持ちの持ち方から変えていかなければならないと思います。

今までの私は、考え方や、動作、何一つとっても周りの人達に甘え頼りきっていたように思います。これからはできるだけ人に頼らず、自分で納得できるよう精一杯頑張りたいと思います。

第二に、これからの人生計画について、そろそろ考えなければいけないと思っています。

たとえば、毎月毎月のお給料を計画を立てて貯金をすることも大切なことだと思います。当り前のことですが、なかなか思うようにできないのではないのでしょうか。両親のため何かしてあげたいと思った時、その準備がないと何も買うことも、何もしてあげること

もできないと思います。

はたちを迎えた一おとめ

### 「短歌」

大代中 櫻井陽子

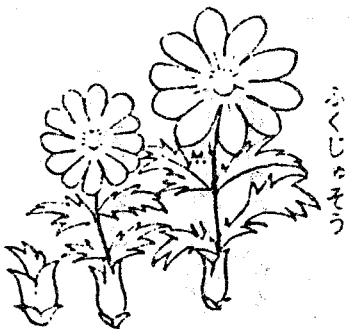
春浅く枯草分けてふきのとう匂いあたらし老母の手に二つ

八十を過ぎて今なお鉄を持ち育てし野菜われにもたせる

ニラを摘む手を休めてはこちら見て私の生命もこうだといひね

この道を辿れば哀し廃屋の跡に茫茫夏草茂る

いつの日かかく言う私もそうならん行き交う年寄りみんな愛し



ふくじかそう